

記者各位

アストモスエネルギー株式会社  
新日本石油株式会社L P ガスの物流協力に関する基本合意書の締結と  
新たな物流協力の検討について

アストモスエネルギー株式会社（社長：児玉宣夫、以下「アストモス」）と新日本石油株式会社（社長：西尾進路、以下「新日石」）は、本年4月のアストモス発足に伴い、これまで個別に締結していたL P ガスの物流業務協力に関する契約※を一本化し締結いたします。

併せて、改正省エネ法対応、安全対策など、社会的責任を全うしながら、消費者から信頼を得られるL P ガス供給を推進していくために、従来の業務協力範囲にとどまらず、更なる効率性の追求、質的向上を図っていくことについて、下記のとおり合意に至りましたのでお知らせいたします。

※ 本年3月まで旧出光ガスアンドライフ株式会社並びに旧三菱液化ガス株式会社と新日石は、それぞれ個別に物流業務協力に関する契約を締結しておりました。

## 記

## 1. 物流業務協力に関する契約の締結

- (1) L P ガスの交換（年間交換数量約40万トン）
- (2) 輸入基地の相互利用及び共同運営
- (3) 2次基地の相互利用及び共同運営
- (4) 国内輸送機関の相互利用、ほか

## 2. 物流業務協力強化の検討

- (1) 基地の統廃合  
輸入基地および2次基地の統廃合を検討し、物流合理化・効率化を図る。
- (2) 備蓄における協力  
相互に在庫を融通し合い、経済的な在庫水準の維持に努め、備蓄コストの低減を図る。
- (3) 輸送にかかわる省エネルギー推進  
2006年4月に施行された改正省エネ法に対応し、両社で更にきめ細かい物流合理化に取り組み、輸送にかかわる省エネルギーを推進する。
- (4) 緊急時における相互補完体制の構築  
地震等の災害発生による緊急時において、両社の出荷基地の供給機能が停止した場合、速やかに相互支援ができる体制を構築する。
- (5) 安全管理、品質管理の質的向上  
安全管理、品質管理の更なる向上策を検討し、安定供給とトラブル防止に努める。

以上

お問い合わせ先	アストモスエネルギー(株)	企画本部経営企画部	高倉	TEL03-5221-9720
	新日本石油(株)	広報部広報グループ	佐藤	TEL03-3502-1124

- 別添資料 1 アストモスエネルギー株式会社・新日本石油株式会社 概要  
2 アストモスエネルギー・新日本石油の基地配置 状況

## 別紙 1

## アストモスエネルギー株式会社・新日本石油株式会社 概要

会社概要	商号	アストモスエネルギー株式会社	新日本石油株式会社
	設立年月日	1988年1月22日	1888年5月10日
	本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号	東京都港区西新橋一丁目3番12号
	代表者	代表取締役社長 児玉 宣夫	代表取締役社長 西尾 進路
	資本金	100億円	1,394億円
	事業内容	液化石油ガスの輸入・仕入 液化石油ガスの製造・販売 船舶の所有、賃貸借、売買	石油製品の精製・販売 ガスの輸入・販売 電力の発電・販売
	大株主	出光興産(株) 51% 三菱商事(株) 49%	日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口 4.9% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口 4.8% (株)みずほコーポレート銀行 3.2% 三菱商事(株) 3.1% (株)三井住友銀行 2.8% (株)三菱東京UFJ銀行 2.1% 東京海上日動火災保険(株) 2.0%
	従業員数	364人(2006年4月1日現在)	4,398人(2006年3月末現在) (新日本石油、新日本石油精製)
	売上高	約4,000億円 (事業統合時の見込売上高)	(単体) (連結) 5兆1,777億円 6兆1,180億円 (2006年3月期) (同左)

LPガス部門概要	販売数量 (シェア)	394万トン(2005年度) (21.0%)	285万トン(2005年度) (15.2%)	
	輸入数量	319万トン(2005年度)	207万トン(2005年度)	
	輸入基地タンク能力	85万トン	54万トン	
	出荷基地	輸入基地 (計10基地)	仙台※1、千葉、愛知、神戸、波方、徳山、長崎(九州液化瓦斯)※1	仙台※1、川崎、新潟、大阪、長崎(九州液化瓦斯)※1
		二次基地 (計13基地)	八戸、市川、大井川、金沢、門司、鹿児島、沖縄	岩手、秋田、小名浜、福山、北九州、川内
製油所 (計11カ所)		苫小牧、千葉※2、愛知※2、徳山※2	室蘭、仙台※2、根岸、富山(日本海石油)、大阪※2、水島、麻里布	

※1. 共同利用基地(上記2基地合計で年間取扱い数量約150万トン)

※2. 輸入基地を併設している製油所

別紙2

アストモスエネルギー・新日本石油の基地配置状況



輸入基地

(製油所併設を含む)



二次基地・製油所

共同利用

アストモスエネルギー

新日本石油

